

第 81 回あわらし議会定例会一般質問通告一覧

平成 28 年 2 月 24 日

(通告順)

1 吉田 太一 議員

あわらし市の財政について (答弁を求める者 市長)

- ・ 臨時財政対策債の発行抑制について。

観光事業について (答弁を求める者 市長)

- ・ 開湯 130 周年事業が終わり、今後の取り組みは。
- ・ 北陸新幹線福井開業までに取り組むべき観光事業は何か。

学校施設について (答弁を求める者 市長、教育長)

- ・ 小学校の空調設備計画について、28 年度に計画はないのか。
- ・ 吉崎小学校、波松小学校の跡地の利用について具体的な案はあるのか。
- ・ 休校に伴うイベント等の計画及びその費用は市が補助するのか。
- ・ 旧勤労青少年ホーム体育館の存続要望を受けての考え方は。

2 山本 篤 議員

越前加賀インバウンド推進機構について (答弁を求める者 市長)

- ・ 名称を変更した理由は何か。
- ・ 観光ルートの策定など、事務における調整役はどこになるのか。
- ・ 広域にまたがり展開するインバウンド事業の注意する事は何と考えるか。

社会教育と公民館事業について (答弁を求める者 市長、教育長)

- ・ 公民館運営審議会の実態、社会教育指導員の設置など、社会教育事業及び公民館運営での問題点は改善されているのか。
- ・ 坂井市の「コミュニティセンター」事業を、あわらし市としてどう把握しているのか。
- ・ 社会教育施設の利用について、借りる市民などの意見を聞いているのか。

行政区と行政連絡員について (答弁を求める者 市長、教育長)

- ・ 行政連絡員の必要性をどう認識しているのか。
- ・ 市政の周知徹底に、広報誌、回覧版などが主になっているが、全て補えているのか。
- ・ 地区区長会は、公民館との連携を強化すべきではないのか。
- ・ 過疎化に向けて、行政区との連絡調整のあり方を見直すべきではないのか。

3 三上 薫 議員

国民健康保険の制度改革について (答弁を求める者 市長)

- ・ 県、市の役割はどう変わり、どのような仕組み、制度になるのか。
 - ・ 県が財政運営の責任主体となるのは、どのような意味、影響があるのか。
 - ・ 加入者が納める保険税額の増減をはじめ、加入者にはどのような影響があるのか。
-

4 仁佐 一三 議員

老人福祉施設について (答弁を求める者 市長)

- ・ 今後、保健センターを活用し、「高齢者の健康維持、介護予防のための施設と位置付け必要な体制を整える」との提案があったが、具体的な計画はどうなっているのか。
-

5 平野 時夫 議員

がん検診の強化策について (答弁を求める者 市長)

- ・ 本市の過去数年間のがん検診受診率の推移はどのようになっているのか。
- ・ 経済的負担を軽減し受診率向上につなげるためにも検診無料化を。
- ・ 市民健診にピロリ菌検査を導入するかどうかの状況は。

24時間営業のコンビニへAEDの設置を (答弁を求める者 市長)

- ・ 24時間利用可能なAEDの設置場所として市内のコンビニに設置することについてどのような考えを持っているか。
 - ・ AED付き自動販売機の設置を条件に無償で設置をしている民間企業との連携についてどのように考えているか。
-

6 山川 知一郎 議員

イノシシ捕獲対策の強化を

(答弁を求める者 市長)

- ・イノシシによる被害圃場が倍増。細呂木、北潟、吉崎に拡大。サツマイモの産地である富津にも広がっている。現状をどう考えているか。
- ・巻き狩りの成果は挙がっていない。イノシシの生態調査を行うとともに、捕獲技術を向上させ捕獲数を増やすことが必要と考えるが、現在までの対策をどう考え、今後どうしようと考えているか。

J R 芦原温泉駅東口のロータリー建設について

(答弁を求める者 市長)

- ・北陸新幹線建設に伴い、J R 芦原温泉駅東口にロータリーを建設する計画が進められている。そもそも、このロータリーが本当に必要か疑問である。
- ・現状は、ロータリー建設を前提に、住民に立ち退きを求めているが、住民の理解は得られていない。今までの進め方に問題はなかったか、また、今後どのように対処していくのか。

子育て・教育支援について

(答弁を求める者 教育長・市長)

- ・憲法26条2項に従い、義務教育の無償化は一義的には国の責任であるが、地方自治体も憲法を遵守し、父母負担の軽減に努力すべきである。
 - ・少子化対策としても「子育てするならあわら市」と言われるくらい、きめ細かい子育て・教育支援が必要。
 - ・当面、中学校スクールバス・通学費の無料化。医療費の窓口無料化など実現を。
-